



広げよ 可能性の地図、
定めよ 羅針盤



真摯 勤勉 質実
山口県立小野田高等学校
校長通信（発行不定期）

平成30年4月16日 **第1号**

皆さん、こんにちは。校長の土井 浩です。

まだ若手教員の頃、私は生徒に言葉で伝えることを、非常に大切にしていました。文章ではなかなか自分の思いが伝わらないと思っていたからです。

でも、あるとき、HR通信や学年通信を発行しはじめ、様々なことに気づきました。ネタ探しに授業や部活動、学校行事等をよく観察するようになったのです。生徒一人ひとりのことも、以前よりもしっかり見るようになりました。文章という形で可視化することで、自分の考えや思いを生徒と共有できることの大切さを実感しました。

この経験から、このたび、本校では、『校長通信』を発行することにしました。発行は定期ではありませんが、君たちを見ていて、思うこと・感じること（ときに称賛もあれば苦言もあり）を発信していきたいと思います。

立志、そして努力

2・3年生には始業式、また1年生には入学式で、私が高校生として大切だと思うことについて、メッセージを発しました。皆さんは、覚えてくれているでしょうか。

一つは「志を立てること」です。「志を立てて、以って万事の源となす」とは幕末の志士吉田松陰の言葉ですが、まさに志は、あらゆる実践・行動の原動力となります。自分が「できること・やりたいこと・そして社会の役に立つこと」を真摯に考え、高い志・高邁な理想を掲げてください。

二つは、「努力し続けること」。いくら志を立てても、その実現のための努力がともなわなければ、立志も画餅にすぎません。世に「天才・秀才」と言われ一見努力とは無縁な人たちも、本当にすさまじい努力をしています。その努力の結果が、誰もが称賛する成果・実績という形であらわれているのです。

立志と努力。

心に刻んでほしいと思います。

挨拶、校歌

かつて私が勤務した学校の野球部が大切にしていた言葉が、「凡事徹底」です。顧問は繰り返し部員にこの言葉を投げかけ、彼らもこの言葉を部のモットーにしていました。ちなみに、「凡事徹底」は、「あたりまえのことを徹底的に行う」という意味です。

その「凡事徹底」のなかに、「挨拶をしっかりと行うこと」と「大きな声で校歌を斉唱すること」がありました。

まずは「挨拶」。学校のどこで出会っても、今述べた野球部員たちは、とにかく大きな声で、また顔をあげてしっかりと挨拶をしていました。「おはようございます」「こんにちは」「失礼します」。本当に気持ちのよい挨拶でした。

また、「校歌斉唱」。彼らは体をそらせて、大声で校歌を熱唱しました。時に音程がはずれることもありましたが、彼らはそんなことは気にもとめませんでした。彼らの熱唱からは、母校に対する熱い思い、まさに「母校愛」が感じられました。

さて、ひるがえって、君たちはどうでしょうか。

私は始業式の日以来、毎朝、生徒昇降口のところで、立哨をしています。「おはよう」と君たちに声をかけます。さすがに、本校の生徒は、無視して通りすぎる生徒はいません。でも、寂しくなります。ときに悲しくなることもあります。声が小さく元気がない生徒が多いので…小野田高校の生徒の挨拶ってこんなものなののでしょうか。

君たちに伝えておきます。「挨拶は相手に伝わらなければ、挨拶ではない」ということを。この『校長通信』を読んだらお願いします。**大きな声で元気のよい挨拶を。**挨拶には、努力は必要ありません。**「挨拶をしよう」という心がけ一つ**でできるものです。

次に校歌です。本校に着任して、先生方から「本校の生徒は校歌を歌わない」と聞きました。離任式で、ある先生も、「今まで勤務したなかで、小野田高校の生徒が一番校歌を歌わない」という話をされていました。

4月5日、梶原先生の指導の下、運動部員が体育館に集まりました。「校歌を歌い、その校歌を録音し、掃除の時間に流す」というお話でした。そのときは、皆しっかり歌っていました。男子も女子も声のでていました。まさに校歌斉唱にふさわしいレベルのものでした。しかし、始業式・対面式の際の校歌斉唱。残念ながら、私の耳には校歌は響いてきませんでした。とても、数百名の生徒がいる学校の校歌斉唱ではありませんでした。せいぜい数十名が遠慮がちに歌っているだけの寂しい校歌。

校歌は君たちの学校を象徴する歌。母校への思い・母校との一体感を示すために、卒業後数十年経過した後に開催される同窓会でも、必ず歌われる歌です。そのかけがえのない校歌を大声で歌うのは、恥ずかしいことでしょうか。挨拶と同様に、校歌を歌うことも、特段努力を必要とするものではありません。**「校歌を歌おう」という心がけ一つ**でできるものです。**皆で心をつにして校歌を高らかに斉唱し、君たちの「母校」を実感しようではありませんか。**

ちなみに、着任間もない私ですが、本校の校歌、すばらしいと思います。歌詞も良いし、メロディーもきれい。私も君たちと同じ思いを共有するために、校歌を早く覚えます。



校 歌

一 續学なす長門国原
湖波よせくるところ
新しく町は興りぬ
小野田 小野田
我等が故郷

二 柿山の丘の松風
百鳥の声も交りて
若人らここに集ひぬ
小野田 小野田
我等が母校

三 高千帆の池の小波
秋草の影もゆらぎて
若人らここに学びぬ
小野田 小野田
我等が母校

四 たまきはる生命の極み
むらぎもの心はひとつ
若人らいまぞ結びぬ
小野田 小野田
我等が誇り